

# 京都教区時報

第217号

田中司教認可  
毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨  
 編集 京都教区時報編集室 住所 京都市中京区河原町三条上る河原町カトリック会館5F  
 カトリック京都教区ザビエルネット／アクセスNo.075-467-1676 ゲストID:GUEST  
 通信速度:1200-28800bps 通信条件:N,8,1,X,N 接続環境:単回線24時間



## 隣人を己れの如く

京都司教

田中健一

日本人には愛す  
べき隣人がいなく愛せよ」とい  
う倫理の基準が  
あります。が、四  
面海に囲まれた

少々早めかもしれません、編集の都合でクリスマス及び新年のご挨拶を申し上げます。この機会に教区民のみなさんの上に、主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが豊かでありますように。

一九九五年は戦後五〇年で信仰者の間ににおいても過去を振り返り、戦争の犠牲者に心からの哀悼の意を捧げ、反省と謝罪を表明し、平和の決意を具体策とともに固めました。

日本という国は地理的にも、歴史的にも、文化的にも孤立した島国だと思います。美しい四季に恵まれ、儒教、仏教の影響もあって、そこに住む日本民族は誠実、勤勉といわれて参りましたが、日本人には一般的にいって最近は眞の宗教の心がなく、御利益主義で、玉虫色で国際的に信頼されていないといわれます。隣人(外国人)の心を知らぬ大変利己主義な民族ともいわれます。「隣人を己れの如

をもち乍らも人間同士であることその人間の尊厳さを福音的な心で開かれた日本人になつてほしいと祈念しております。

一九九五年は戦後五〇年で信仰の意志は倫理の基準であり、正しい自己反省を促します。日本のようないいががあり、掠奪文化も生れて来たかも知れません。しかし一神教の核神文化をもつておれば、神の福音に接して、即ち聖フランシスコ・ザビエルが来日して四五〇年に当ります。彼は鹿児島・平戸・山口で宣教し京都まで来られました。日本への中国影響を深く感じ、直ちに中国宣教の途につかれました。しかし病気のため中国大陆眺め乍らサンシャン島で帰天されました。四五〇年を前に日本司教団も勧めておりますので、私は秘かに来年九月二十日から五日間の予定でサンシャン島巡礼を考えています。サンシャン島巡礼を考慮することをご披露して、よりよき福音宣教者と一緒に成長して行く恵みを聖フランシスコ・ザビエルの取次ぎでお願いしたいと思います。

現在、世界の通信、文化網は大変な発展をいたしました。日本人の海外進出はどのジャンボ機も満席で世界中に散つて行っています。次の世代を背負う人々がどうか多くの隣人に触れ、あらゆる異なり

## インドへ 友愛の手を!

ノートルダム教育修道女会  
シスター・ジーン・ショミッド  
シスター・ボーラ岩城

「インドへ友愛の手を!」はノートルダム教育修道女会の活動の一環で、インドの子供たち、家族また地域が、教育を通して自立していくのを助けることを目的としています。

一九七九年、国連「国際児童年」に始まられ、今年で十六年目になりますが、ノートルダムのシスターがインドに行っているわけではありません。日本ではスポンサーの方に援助金を出していただき、それを印度に送ります。印度では「マリアの御心会」のシスターがそのお金を必要なところで活用します。もちろん、電話やファックスで連絡はきちんととり、一年か二年に一度は日本から視察に行きます。もう一方で、日本では「マリアの御心会」のインド人のシスター・バツィ・カーンに出会ったことからこのプロジェクトは発足しました。インドは貧

富の差がはげしく、当時、シスター・パツィのいらっしゃったインド西海岸のホナワ地方では人々は生活していくだけでも大変で、子供を学校に行かせる余裕はありませんでした。シスター・パツィは

その状況を憂え、日本から何らかの形で援助を得られないだろうか

とシスター・ジーンに相談しました。一方シスター・ジーンは

小学生の頃アメリカで、日本のノートルダムのために募金

活動をした経験があります。

その後シスターになつて英語の先生として来日してみると、日本はつい分成長して豊かになっていたので、日本の中学生にも、よその国、特に

高校生にも、同じアジアの国を援助することを教えるといまし

た。そこで実際にホナワ地方を視察し、修道会と相談のうえ間接的に援助することになりました。



かせるよう説得することからはじまりました。三、四歳の子供でも、その家にとつては大切な収入源。その子供が幼稚園や学校に行つてしまふと、収入が減り、生活していくなくなる家庭もありました。

そこで、日本からの援助で学校に行かせることを条件に、学費だけでなく、学用品、衣服などの生活必需品とその子が働いて得ていた

お金支給することになりました。このようにしてはじまつた援助はどんどん広がり、今ではホナワ社会福祉センターの設立など多岐にわたっています。将来はさらに意識の変革、特にしたがっている女性の権利を守る方向で援助をしていきたいと思っています。

日本ではカトリック系の学校からはじまつた協力が、今では各種市民団体と個人の方々に広がり、

約三千人がスポンサーになつてくださっています。事務局では年に二回ニューズレターを発行して、

インドの状況を知らせたり、会計報告をしたりしています。また、毎年インド旅行を計画しています。

援助の方法・毎月二千円を送る

事務局・

左京区松ヶ崎今海道町11の1

ノートルダム修道院

TEL・075(700)7228

火・水・金曜日 十時~三時半

地方の他に十五の地域を定期的に援助していますし、必要な時に援助する地域も十以上になりました。この十五年間に小・中・高・大学・職業訓練校などを卒業した子供は五百人にものぼります。また、援助の内容も井戸掘り、トイレづくり、住居のたてかえ、医療関係、職業訓練校やストリート・チルドレンのためのオープン・スクール、

「開かれた教会づくり」の流れのなか

七月・八月号に掲載しましたテーマに対し、大阪教区「共同司牧を考える会」が、「小教区の現状把握のための物差し」という資料を作成しています。小教区の現状を見直すために活用して頂くよう、ここに掲載します。

- ②上記のような視点で養成がなされていますか。

新しく教会に来られた方に対する  
る養成（いわゆる要理）の工夫。  
信徒の養成とその工夫。例えば  
聖書の分かち合い、体験学習、等。  
③上記の視点から典礼・秘跡を生  
かそうとの試みがなされています

## 1 「キリストを モデルとした教会」

「人となられたキリスト。人々の叫び、苦しみに耳を傾け、救いと希望を与えるために人々の中に飛び込んでこられたキリスト、そのキリストと同様に現実社会の中に入り飛び込んで行かねばならない教会。個人として、特に共同体として

- ④信徒は何のために日曜日に来ますか。

1) 内向きの  
一転換

(1) 内向きの姿勢からの転換（地域社会）

① 地域の人々がどの様に教会を受け入れているのか知っているか？  
② 来たくても教会に来れない人々の関心を持っていますか？  
③ 宣教的な役割を持つた委員会が存在するか？

- ⑤教会が、メンバーだけのものとなつていなか。

③教会の中で、青少年に対して、  
か。  
①自由に物事が提案され、捉えら  
れる雰囲気を持っているか。  
②社会や文化の中にある福音的な  
ものを見分ける視点を持っている  
か。

- ⑨上記の視点から、教会外のグループとの交流は成されていますか。  
⑩「現実社会」をどのように捉えていますか。小教区の位置する地域教会の中での「弱者」を具体的に把握していますか。(例えば、高齢者、滞在外国人)。これらの人々と「共感・共有」するための実戦あるいは計画を持っていますか。

①始めて教会に来る人達を受け入れる体制が出来てあるか。  
②信者ではない方の結婚式、葬式をどの様に受け入れてあるか。  
③教会のそれぞれの集まりの中で、信者でない方が入っているか。  
④教会それぞれの場が閉鎖的な雰囲気であるか。

①右記のような視点での共同体づくりを目指していますか。  
右記の視点が、信徒、司祭の間で、どの程度意識化されていますか。

- ⑦義務的な典礼中心主義の結果として、上記のような意図を持つた人が教会から離れていませんか。  
⑧他の小教区や教会関係の事業体とのつながりが、上記の視点の中

II 社会

①地域の人がどの様に教会を受け入れていいのか知っているか？  
②来たくても教会に来れない人への関心を持っていますか？  
③宣教的な役割を持つた委員会が存在するか？

(3)裁く共同体からの転換

①自由に物事が提案され、捉えられる雰囲気を持っているか。  
②社会や文化の中にある福音的なものを見分ける視点を持っているか。  
③教会の中で、青少年に対して、

- ⑥価値観は、弱者の視点に立つて  
いるか。  
⑦離婚者、犯罪者、若者の独自性  
が教会の中で受け入れられている  
か。

**師** 走の大手筋商店街にローソクの光があふれ、百名を越す大聖歌隊の美しい歌声が響き渡った。十字架を先頭に祭服に着飾った司祭と侍者の子供たちや、お揃いの白い隊服に身を包んだ聖歌隊、手に手にローンの幽美な光をきらめかせた総勢百二十名もの大行列に街の人たちはまずビックリした。次々聞こえる清らかなクリスマスソングに今度はウットリ。最後には街の人たちや買物客ま

でが一緒になって「きよしこのよる」「もろびとぞりて」を大合唱し、まさに街全体がキリストの降誕を祝って大いにもりあがった夜であった。

こ れは昨年十二月二十三日に行われた桃山教会主催のクリスマスキャロルの光景である。

「世界のすみずみに福音を述べよ」とのキリストの言葉によつて布教を義務づけられた私たち。しかし一人一人で実行するにはあ

いよ迎えた当日。

**会** 場設営にすごい力を發揮してくれた裏方の人たち、熱い期待を胸に見守ってくれた聴衆役の人たちすべての人たちが神の栄光を歌い感動したあの夜。第二回、第三回とあの感動を続けて行きたい。今年もいつしょにクリスマスの歌を唄いましょう。

十二月二十三日（土）大手筋商店街にて、クリスマスキャロル（キャンドルサービス）を行いますので、参加者を募集します。老若男女問わず誰でも参加できます。信者でない方も歓迎しますので、お知り合いをお説いください。

練習場所は桃山教会大集会室の午前十時～十二時まで。練習日は毎月第二、第四土曜日の午前十時～十二時まで。

会聖歌隊までご連絡下さい。



まりにも勇気と度胸と知識が無さすぎると尻ごみしてきた私たち。それでは、一人ではなくおおぜいでできる布教の方法はないだろうかと真剣に考え企画したのが、クリスマスキャロルである。

三月、聖歌隊を募集、指導を岩井さんにお願いし厳しくもユーモアあふれる楽しい練習が始まつた。

また大手筋商店街に協力を要請する一方、大塚神父さまを介して聖母学院にも参加を呼びかけるなど実施に向けての具体的な活動を続けて、いよいよ迎えた当日。



## 「福音センター養成コース」に改名

信徒使徒職養成コースから

### 来年度の研修会予定発表

信徒使徒職養成コースが発足したのは一九八〇年です。発足当初すでに「信徒の時代」と呼ばれ、信徒のための養成プログラムが当センターで準備され、京都教区内外で十五年の間継続実施されて参りました。

コース目録は基礎コース、みことばと典礼コース、病人司牧コース、社会と福音コース、祈り1・2コース、聖体奉仕者養成コース、コミュニケーションコース、そして今年より小教区出前コース等、教会の要望に応えた内容です。

来年度から次の四点で変化を加えてみました。

- 1、信徒使徒職養成コースを、福音センター養成コースに改名。
- 2、従来二泊三日のコースだけでしたが、内容によって一泊二日のコースに短縮し、参加しやすい条件に。
- 3、基礎コースを休み、生活から福音へのコースを新設。
- 4、小教区出前コースの充実。

※ 教会の中は、社会の変化と共に教会への参与の仕方、教会のあり

方も変わって来ました。特に、社会の高齢化、司祭不足、若者の教会離れ、外国人の移住者等から来る教会の対応も考えざるを得ない状態におかれています。

司祭中心の教会から司祭不在の教会へ、小教区内の教会から地域社会に開かれた教会へ、義務・撫養に囚われた教会から共感する教会へ、行事に追いたてられ動きまわっている教会から弱い人々とも共にいられる教会へ、外国人宣教師による教会から手造りの教会へと、こうして教会の持つイメージや姿は変わり、どんどんと広がりと深まりを求めつつ、福音の精神に根をおろして、成長しようとしているようにも考えられます。

こうして成長しつつある教会、変容しつつある旅を続ける教会の狭間にあって右往左往したり、痛み苦しんでいる人々も少なくありません。

この現状で、教会共同体の構成員である私たち一人一人が教会に何を求め、何に魅せられて來ているのか、見きわめ、耳を傾けつつ、より充実した養成コースを実施して参りたいと思います。

### '96 福音センター養成コース予定

期 日	場 所	コ ー ス 名	期 日	場 所	コ ー ス 名
'96 4月20・21	ウィチタ 聖ヨセフ 竜安寺修道院	コミュニケーション 対話を通して豊かな人間関係をつくる	7月6・7	津 研宗館	養成コース 社会の中でキリスト者をする
5月24・25・26	宝塚 壳布 默想の家	病人司牧 病人訪問の心得 共同体と病人自分を知る	9月28・29	奈良 礼拝センター	典礼コース 典礼を通して共同体のあり方を学ぶ
6月15・16	宇治 默想の家	養成コース 社会の中でキリスト者を生きる	11月(未定)	ノートルダム 唐崎 祈りの家	祈りのコース2 自分に聴き 神に聴く 内面からキリストに回復していく
6月(未定)	ノートルダム 唐崎 祈りの家	祈りのコース1 自分に聴き 神に聴く さまざまな祈りの体験	依頼された時	各教会	出前コース 教会と社会と私

## ■西院カトリック会館行事

問合せ・075-822-7123

福音セントラル(12月28日~1月5日休み)

▽柳本神父の雑学講座「平安京」6日10時半~

▽国本神父の音楽講座「ベートーベン第九と合唱幻想曲」16日13時半~17時

会費・千五百円

▽おてんとさんの会 毎週火曜日13時~16時半 お茶代百円

▽Srアスンタの書道教室 每週金曜日13時半~ 月謝二千円

▽カトリック聴覚障害者の会手話教室 火曜クラス・聖書研究と手話の勉強19時半~

一員として認識し、積極的に暮しているものとして、4、家庭(家族)を作る者として』この四つの目標について、各々に内省していただき、そして同年代の仲間と分かち合っていただけます。

このエンカウンターが、本当の自分に出会う機会となりますよ

うに祈りつつ、お誘いします。

日時・27日15時~29日18時

指導者・ジャクソン師

参加費・六千円  
申込先・津教会中学生SADE

係り 12月20日まで

TEL 0592-2812580  
FAX 0592-2912305

## 会) 10日 大和八木教会

▽アムネスティ富雄グループ例会  
17日11時45分 富雄教会▽滞日外国人を支援する為のクリスマス・チャリティー・コンサート  
主催・奈良滞日外国人と連帯する会日時・17日14時~16時  
場所・大和高田教会

チケット代及び援助チケット代・千円

問合せ・西原

TEL 0742-7116031

▽エキュメニカル市街キャロリング  
23日16時近鉄高田市駅前集合▽信陸二金会 8日 西陣教会  
23日16時近鉄高田市駅前集合

▽聖ヴィンセントオ・ア・パウロ会 3日 河原町教会

▽信陸二金会 8日 西陣教会  
23日16時近鉄高田市駅前集合▽講堂等竣工式 8日 ノートルダム小学校  
23日16時近鉄高田市駅前集合▽河原町カトリック会館行事  
△カナの会結婚相談室 3日13時受付 13時半~15時

△京都南部地区司祭と信徒会長の例会 17日 フランシスコの家

△聖ヴィンセントオ・ア・パウロ会京都中央理事会 17日 河原町教会

△十字架の聖ヨハネ聖体顯示・講和と聖体贊美式 14日 女子力ルメール

△ボランティア養成中級講座「カウント立つ神」  
10時半 20日19時△手話教室 第1・3・4金曜日  
10時半~12時 西院教会△黙想会 指導石川康輔師(サレジオ)  
11月30日~12月1日河

## カトリック京都教区ザビエルネット

Catholic Kyoto Diocesan XavierNet  
075-467-1676 (CKXN-Net: Since 1994/8/31)  
e-mail:catholic@mbx.kyoto-inet.or.jp  
Home Page: web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/

★★ Shalom

BIG-Model 4.0b  
12K-28.8Kbps  
V.34&V.32bis 24hours  
Tr-P.CKXN



SYSOP/CK00001: shou (担当司祭)  
SYSOP/CK00002: JEANNE (保守担当)



## ■西院カトリック会館行事

問合せ・075-822-7123

福音セントラル(12月28日~1月5日休み)

▽柳本神父の雑学講座「平安京」6日10時半~

▽国本神父の音楽講座「ベートーベン第九と合唱幻想曲」16日13時半~17時

会費・千五百円

▽おてんとさんの会 每週火曜日13時~16時半 お茶代百円

▽Srアスンタの書道教室 每週金曜日13時半~ 月謝二千円

▽カトリック聴覚障害者の会手話の勉強19時半~

## 一員として認識し、積極的に暮しているものとして、4、家庭(家族)を作る者として』この四つの目標について、各々に内省していただき、そして同年代の仲間と分かち合っていただけます。

このエンカウンターが、本当の自分に出会う機会となりますよ

うに祈りつつ、お誘いします。

日時・27日15時~29日18時

指導者・ジャクソン師

参加費・六千円  
申込先・津教会中学生SADE

係り 12月20日まで

TEL 0592-2812580  
FAX 0592-2912305

## ■三重研宗館の行事

△暮しの中のカウンセリング 每月曜日10時~12時

△韓国語講座 每木曜日10時~12時

△聖書に学ぶ シリーズ第三回 テーマ「小さくされた者の側に立つ神」

△中学生エンカウンター  
エンカウンターとは、「1、自分で責任ある人として、2、神の子として、3、自分の家庭の△三重地区の行事  
△バザー 3日 四日市教会△奈良地区的行事  
△故トニー・グリン神父一周忌ミサ 3日 登美ヶ丘教会

△黙想会 指導・中川博道師(カルメル会) 富雄教会

△河原町カトリック会館行事  
△カナの会結婚相談室 3日13時受付 13時半~15時

△京都南部地区司祭と信徒会長の例会 17日 フランシスコの家

△聖ヴィンセントオ・ア・パウロ会京都中央理事会 17日 河原町教会

△十字架の聖ヨハネ聖体顯示・講和と聖体贊美式 14日 女子力ルメール

△ボランティア養成中級講座「カウント立つ神」  
10時半 20日19時△手話教室 第1・3・4金曜日  
10時半~12時 西院教会△黙想会 指導石川康輔師(サレジオ)  
11月30日~12月1日河

## ■京都南部地区の行事

△手話教室 第1・3・4金曜日  
10時半~12時 西院教会△黙想会 指導石川康輔師(サレジオ)  
11月30日~12月1日河

△聖ヴィンセントオ・ア・パウロ会京都中央理事会 17日 河原町教会

△十字架の聖ヨハネ聖体顯示・講和と聖体贊美式 14日 女子力ルメール

△ボランティア養成中級講座「カウント立つ神」  
10時半 20日19時△手話教室 第1・3・4金曜日  
10時半~12時 西院教会△黙想会 指導石川康輔師(サレジオ)  
11月30日~12月1日河

△聖ヴィンセントオ・ア・パウロ会京都中央理事会 17日 河原町教会

△十字架の聖ヨハネ聖体顯示・講和と聖体贊美式 14日 女子力ルメール

△ボランティア養成中級講座「カウント立つ神」  
10時半 20日19時△手話教室 第1・3・4金曜日  
10時半~12時 西院教会△黙想会 指導石川康輔師(サレジオ)  
11月30日~12月1日河

△聖ヴィンセントオ・ア・パウロ会京都中央理事会 17日 河原町教会

△十字架の聖ヨハネ聖体顯示・講和と聖体贊美式 14日 女子力ルメール

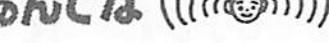
△ボランティア養成中級講座「カウント立つ神」  
10時半 20日19時△手話教室 第1・3・4金曜日  
10時半~12時 西院教会△黙想会 指導石川康輔師(サレジオ)  
11月30日~12月1日河

△聖ヴィンセントオ・ア・パウロ会京都中央理事会 17日 河原町教会

△十字架の聖ヨハネ聖体顯示・講和と聖体贊美式 14日 女子力ルメール

△ボランティア養成中級講座「カウント立つ神」  
10時半 20日19時△手話教室 第1・3・4金曜日  
10時半~12時 西院教会△黙想会 指導石川康輔師(サレジオ)  
11月30日~12月1日河

J Y D (ジャパン・ユース・デイ)  
京都教区の若者たちよ、いざ埼玉へ



今、日本中のカトリックの青年たちが一つになろうとしています。来年九月、埼玉で第一回「ジャパン・ユース・デイ」が開催されます。この「ジャパン・ユース・デイ」は、イベントであると同時に、ずっと続いている福音運動でもあるのです。たとえば「学園祭」のようなものであり、日常のクラブやサークル、そしてクラスなどの発表のような場であるのです。

J Y D (ジャパン・ユース・デイ) で一番重要なことは、イベントだけではなく、日常のカトリック青年の活動なのです。本部東京に、J Y D オフィスが設置され、全国の青年の団体や活動の情報が集められます。例えば、私はこの夏、アジア体験学習で、フィリピンへ行きましたが、このようなアジアへ行った青年のグループは、全国で他にもあることでしょう。本部のオフィスを通して、各地でこうした活動をしている青年たちと、出会い交流を深め、情報を交換したりできるのであります。J Y D は今年の十月十

J Y D (ジャパン・ユース・デイ) は、イベントであります。すると同時に、ずっと続いている福音運動でもあるのです。たとえば「学園祭」のようなものであり、日常のクラブやサークル、そしてクラスなどの発表のような場であるのです。

こういった活動を日々送り、来年九月、さまざまな活動をしている全国のカトリック青年が、埼玉に集まり、交流を深め、大きな福音を分かち合い、広めるのです。

私たち京都教区の青年も、これに参加しようではありませんか。J Y D が作られることにより、京都教区の青年たちが集まる機会がつくられました。こうした動きは、全国でも見られることでしょう。

日本における青年の活動において、何かが動き、何かが変わろうとしている。ここに神様の大きな愛の力の存在を感じずにはいられません。

日に発足され、動き出したばかりです。ここに全国のカトリック青年の活動を登録する必要があるのです。こんなクラブを作つてみたとか(例えばテニスクラブや無線クラブなど)こんな活動しているところはあるかしら? という風に思つたとき、J Y D オフィスを利用すればいいのです。

(((((((お))))))) あんてな

## 外国语ミサ

## ● MASS IN ENGLISH (英語ミサ)

\*SHIN-AI KINDERGARTEN

~PAG-ASA COMMUNITY

every Sunday 3 p.m.

\*Franciscan house

every Wednesday 4 p.m.

\*NISHI-MAIZURU church

the first Sunday of the month 3 p.m.

\*KUSATSU church

the fourth Sunday of the month 2 p.m.

\*NARA church

the last Sunday of the month 2 p.m.

\*YAGI church

the third Sunday of the month 2 p.m.

\*TSU church

the second Sunday of the month 2 p.m.

\*MATSUZAKA church

the first Sunday of the month 3:30 p.m.

\*YOKKAICHI church

the second Sunday of the month 4 p.m.

## ● MISSA EN PORTUGUES

(ポルトガル語ミサ)

\*Igreja paróquial de KUSATSU

segundo domingo do mes tarde 15 horas

## ● MISA EN ESPAÑOL (スペイン語ミサ)

\*Iglesia de FUSHIMI

segundo Domingo del mes a las 2 de la tarde

\*Iglesia de KUSATSU

primer tercer Domingo del mes a las 2:30 de la tarde

\*Iglesia de YAGI

primer Domingo del mes a las 2 de la tarde

\*Iglesia de NISHI-YAMATO

segundo Domingo del mes a las 3 de la tarde

\*Iglesia de SUZUKA

segundo Domingo del mes a las 2 de la tarde

\*スペイン語のサービスのある日本語ミサ

長浜教会 毎日曜日 午前10時半

## ● 한-구-어 미사 (韓国語ミサ)

\*京都コリアン・カトリックセンター

第1日曜日 午前10時

上記のミサ時間の訂正、追加などがありましたら、京都教区国際協力委員会までお知らせ下さい。

(西院・桂教会 森田直樹)

## 教区スケジュール

12月	4~6日世界学生平和サミット・田中司教参加(立命館・比叡山)
9~10日宣教司牧評議会	7日(木)司教顧問会(河原町会館)
12~15日司教會議(東京)	15日(金)宣教司牧評議事務局会議
16日(土)諸宗教委員会・田中司教参加(東京)	16日(土)諸宗教委員会・田中司教参加(東京)
24日(日)市民クリスマス・クリスマス深夜ミサ	25日(月)クリスマスミサ
26日(火)教区司祭忘年会	27日京都教区中学生会合宿(大津教会)
25~27日京都教区高校生会合宿	26~27日京都教区中学生会合宿(大津教会)
11月14~18日教区司祭黙想会デイ(東京)	10月14~18日教区司祭黙想会デイ(東京)
11月21日(木)司祭全体集会	10月14~18日教区司祭黙想会デイ(東京)
11月24日(日)教区一斉京都教区創立記念ミサ・アジア交流の日	11月21日(木)司祭全体集会
11月23日又は24日日本二十六聖人捕縛四百年記念ミサ(予定)	11月24日(日)教区一斉京都教区創立記念ミサ・アジア交流の日
・ベースフル師(メリノール宣教會)96歳 10月19日米国でト会)の母上	11月23日又は24日日本二十六聖人捕縛四百年記念ミサ(予定)
・アイリーン・ウイックスさん	・ベースフル師(メリノール宣教會)96歳 10月19日米国でト会)の母上
10月16日ウイックス師(マリスト会)の母上	077212213127、
◆部落問題委員会よりお知らせ	あるいは玉手宅 077212213789
▽学習会	尚、各小教区には一部ずつ贈呈させていただきます。
テーマ「今もつづく琉球処分(沖縄の苦悩)」	まで電話下さい。
在沖米兵事件を機に沖縄のエネルギーが噴出した。時同じくして、アメリカでは人種差別問題で黒人のエネルギーが噴出した。二つの共通は長い歴史のなかで差別抑圧に苦しんできた、人間	尚、各小教区には一部ずつ贈呈させていただきます。

## お知らせ

## 96年の教区の主な行事予定

2月11~12日教区青年の集い  
2月25日(日)教区合同洗礼志

願式

3月28日(木)聖香油ミサ

5月16日(木)司祭全体集会

8月11日(日)教区一斉平和祈願ミサ

8月19~21日司祭修道士研修会

9月12~16日ジャパン・ユース・デイ(東京)

10月14~18日教区司祭黙想会

11月21日(木)司祭全体集会

11月24日(日)教区一斉京都教区創立記念ミサ・アジア交流の日

11月23日又は24日日本二十六聖人捕縛四百年記念ミサ(予定)

11月24日(日)教区一斉京都教区創立記念ミサ・アジア交流の日

の血は涸れずにあつたマグマの怒りである。多数の来場をお待ちしています。

お話・山田圭吾さん(沖縄・カトリック文化センター)

日時・16日19時

場所・河原町会館6階

△その他

日時・16日19時

場所・河原町会館6階

フルート 初田茂子  
ハープ 山根ひろみ

曲目・「アヴェマリア」他、クリスマス曲

入場料・二千円(当日二千三百円)

問合せ・東

07517812049、

07512116505

田中(事務局)

07512116505

△「一万匹の蟻運動」基金報告

10月2日遂に一千万円突破。会員の皆様本当に有難うございました。これからも一致協力してがんばりましょう。七七六名愛の結晶!! \*新規会員募集中\*

累計 10,064,385円

加入者 776名(10月16日現在)

△電話番号情報コーナー

07518644343

△電話番号情報コーナー